

授業概要

平面や立体を中心とした様々な制作を学生が実際に行うことで、作る楽しさを学生自らが実感することを通して、子どもの作る姿への共感力と、子どもの造形活動の指導力を高めることを目指す。

- ・材料や道具の基本的な使い方、幼児が安全に楽しめる使い方、保育で応用可能な使い方などを学ぶ。
- ・平面と立体の制作を行い、実際に自分で作品を作り上げることを通して、材料や道具の使い方を身につけ、制作能力を高めるとともに、制作の楽しさについて実感的に理解する。
- ・実際の保育の現場を想定して、共同制作を行う。他者と共同して制作することを通して、実践に役立つ現場力を養う。

これらの学びを通して、保育・教育者として、制作のスキルを活用した指導のあり方を考えるよう指導する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	造形活動と発達
第 3 回	平面制作(1) 絵具で描く 1
第 4 回	平面制作(1) 絵具で描く 2
第 5 回	平面制作(1) 絵具で描く 3 共同製作
第 6 回	平面制作(2) 紙(コラージュ)で描く 1
第 7 回	平面制作(2) 紙(コラージュ)で描く 2
第 8 回	平面制作(2) 紙(コラージュ)で描く 3 共同製作
第 9 回	立体制作 いろいろな形(丸めて、重ねて) 1
第 10 回	立体制作 いろいろな形(丸めて、重ねて) 2
第 11 回	立体制作 いろいろな形(丸めて、重ねて) 3 共同製作
第 12 回	造形あそび 共同制作 「季節の工作」 1
第 13 回	造形あそび 共同制作 「季節の工作」 2
第 14 回	造形あそび 共同制作 「季節の工作」 3
第 15 回	完成作品の扱い 作品展示
第 16 回	作品発表・講評

到達目標

- ・保育・教育者として、子どもの造形活動を支援、指導する為の知識や基礎となる技能を身につけることができる。
- ・子どもの造形表現・描画における発達段階を理解し、造形活動を展開することができる。
- ・制作における基礎的な知識や技能を応用して、作品制作ができる。
- ・他者と共同して制作を行い、活動を楽しむことができる。

履修上の注意

造形活動で用いられる様々な材料・用具(絵の具・画用紙・糊等)の準備をする。

予習・復習

子どもの制作や作品を理解するためには、学生自身が制作を行うことで、感性を豊かにし、制作の楽しさを味わうことが大切です。日頃から身近な材料で制作し、美術館などの展覧会にも積極的に足を運ぶことが期待される。

評価方法

制作準備・環境設定 30%、課題作品 40%、学習態度・協調性 30%

テキスト

特に指定なし。